

にゃんでも隊 Web
登録はこちらから

ねこ SAPO 通信

令和 7 年 3 月 25 日

令和 6 年度 第 12 号

発行: 長根っ子サポートステーション

ねこ SAPO コーディネーター

柳田 井澤

<https://forms.gle/FJWRfMupuRHyOF6q>

ゆるやかに「つなぐ・つながる」

ありがとう



にゃんでも隊手書き
登録はこちら

2月13 日(木)長根小学校体育館にて「感謝の会」が行われました。

児童会役員の皆さんが中心となり、全児童の皆さんが日頃お世話になっている交通指導員さん、見守り隊の皆さん、草刈り隊の皆さん、野菜名人の皆さん、葉っぱの会の皆さん、にゃんでも隊の皆さん、そして今年度は長根小学校がコミュニティ・スクールとなり、子どもたちを核とし、学校と地域と保護者が協働し、活動を始めて6年目となりますが、一緒に見守り活動してくださった歴代の校長先生、学校運営協議会の委員の皆様へ「ありがとう」を伝えたいということで、計画、準備、実施をしていただきました。

「コロナ禍だからこそ何か子どもたちの力になりたい」「コロナ禍だからこそやれることがある」という地域の方からのお声で始まったボランティア活動が、いまや「やれる人が、やれるときに、やれることを」を合言葉に今年度は 13 の活動に広がりました。

1年間を通して、子どもたちから「ありがとう。」「またきてね。」「これからもよろしくお願いします。」「大人になったら、支える側の人になりたいです。」「ボランティアの人たちが、たくさん学校に来てくれることが僕たちの学校自慢です。」という言葉は、わずかな時間しか共有できていないのですが、**幸福度100%の時間**を、にゃんでも隊の皆さんと過ごしてくれていたのかなあ。と嬉しく思いました。

協働活動の場が、**大人も子どもも「喜びを感じる場」「元気な姿を見せ合う場」「互いに支え合い、『ありがとう。』でつながっている場」**であり続けますように…。

ねこ SAPO より

